

週報

日本キリスト教団

みなみやま

南山教会

<年間聖句>

「わたしにつながっていないさい。

わたしもあなたがたにつながっている。」

(ヨハネによる福音書15章4節)

<年主題>

私たちを結び合わせてください



Since 1947. 8. 1. 創立75周年

〒470-0111

愛知県日進市米野木町南山983-16

(愛知牧場内)

牧師 村山盛芳

伝道師 三好祐輝

TEL 0561-73-6781 FAX 0561-76-3005

教会メールアドレス minamiyama@mb.ccnw.ne.jp

HP www.mb.ccnw.ne.jp/minamiyama/

先週の説教から

「言い尽くせない贈り物」

ガラテヤの信徒への手紙 1章1～10節

この手紙で、パウロは何と戦っているのでしょうか。それは、ユダヤ人キリスト者、ユダヤ主義者たちです。彼らは、割礼を受けてユダヤ人にならなければ救われない、そう主張していました。彼らが語った一つの論拠は、パウロの使徒としての権威は第二級のものだということでした。第一級の権威を持つ使徒は、エルサレムにいる主イエスと地上での歩みを共にした十二使徒で、パウロは彼らとは違う。だから、エルサレムから来た私たちの言うことを信じなさい。そういう論法だったわけです。

パウロは1節で、自分は誰かから、はっきり言えばエルサレムにいる使徒たちから、使徒に任命された者ではない、自分を使徒として召し、任命し、遣わしてくださったのは、イエス・キリストであり、神御自身なのだと言っています。彼はダマスコ途上において復活の主イエスと出会い、回心させられ、召されました。このことを地上での主イエスの召しよりも低いものと見なすのならば、地上での主イエスと復活の主イエスとは別の方であり、復活の主イエスは地上の主イエスより低い方ということになる、そんなことは断じてない。自分は、復活されたイエス・キリスト御自身、主イエスを復活させた神によって、直接使徒として召され、立てられた者なのだ、パウロは主張しているのです。

パウロは、キリストの恵みから離れて「ほかの福音」にガラテヤの人たちが乗り換えようとしていることに驚いています。キリストの救いから離れてしまうならば、十字架につけられたキリストの福音とは異なるものになってしまう。それはもはや福音ではなくなるというのです。パウロにとって「使徒」と「キリストの僕」(10節)は同義です。神に遣わされた者は、キリストの僕として仕えていく者なのです。それは、神へ精一杯、思いを、時間を、生涯をささげる者としての歩みなのです。(村山盛芳牧師)

副編集長 堀江 一 七 州 口

前奏

頌栄 119 (天の御国)

主の祈り 同会報

聖書 12の使徒の手紙 1 九章
六節～一五節 (新約11115)

讃美歌 六 (つゝのつゝを讃美し給へ)

祈禱

説教 「言い尽くせない贈り物」

祈禱 三好祐輝 伝道師

今週の誕生者のための祈禱

讃美歌 五六六 (おゝを讃美し)

献金 感謝祈禱 三好祐輝

頌栄 117 (父・子・聖霊)

祝禱

後奏

... 報知 ...

主の祈り同会報に代わらずに母に祈ることに。
産後母に祈ることも祈ることに。

記事の印刷用QRコード
扫一扫即可阅读。

